

体験型環境学習活動

次世代を担うこどもたちの環境意識を育てる、体験型環境学習を行っている環境市民ボランティア活動を支援しています。また、今年で9回目を数えるスカウトによる「カントリー大作戦」への活動支援も行いました。



かわさき水辺の楽校等々力校
(神奈川県)
川の浅瀬に入り、深さ・温度・水質を身をもって体験する環境学習。河川などの観察中、安全確保に必要なライフジャケットを助成しました。



NPO法人 やまぼうし自然学校
(長野県)
森に入り森林ボランティアを体験し、間伐材の有効利用を学ぶ森林環境学習に必要な TENT などの道具類を助成しました。



わいわいクラブ(福岡県)
里山の保全作業や農作業体験を通じて世代を超えた交流の場をつくり、ジュニアボランティアを育成する活動に必要なヘルメットなどを助成しました。

生駒の自然を愛する会(奈良県)
身近に存在する自然に直接ふれることで、こどもたちの環境意識を育てる「自然観察会」。観察を行うために必要なフィールドスコープなどを助成しました。



スカウトの日「カントリー大作戦」

平成6年から継続して応援している、ボーイスカウトによる全国一斉空缶回収活動「カントリー大作戦」も今年で9回目。9月15日に約7万人が参加し、空缶やペットボトルを回収。セブン-イレブンみどりの基金は、この活動にオリジナルゴミ袋や軍手、トンガなどの資材を提供しました。



鹿沼第4団(栃木県)

生態系保護活動

自然と人間との共生のバランスがくずれ、絶滅の危機にある日本固有の動植物。それらが存在する自然環境を保全することで全国の貴重な生態系を守る環境市民ボランティア活動を応援しています。



ヒョウモンモドキ保護の会(広島県)
「絶滅危惧種ヒョウモンモドキ」を中心とした湿地の動植物保護活動に助成を行いました。

本州産クマゲラ研究会(岩手県)
本州に生息する「絶滅危惧種クマゲラ」の個体群の生息・生態調査のためのカメラや無線機などの機材を助成しました。



鳩ヶ谷にトンボ公園を作る会(埼玉)
休耕地を利用して「絶滅危惧種メダカ」の保護繁殖を行うビオトープ池の水質保持のため、水循環用のパイプ提供などを行い池の水質強化事業を応援しました。



知床海鳥研究会(北海道)
知床半島における「絶滅危惧種ケイマフリ」の生息・繁殖分布に関する海上からの調査に必要な船舶にかかる経費を助成しました。



NPO法人 生態工房(東京都)
多様な草原植物が生息するスキの原っぱ、「絶滅危惧種フジバカマ」の保全活動のために必要な草刈り機やチェーンソーなどを助成しました。